

豊中・サンマテオ
都市提携ニュース



第 13 号
昭和56年 3月31日発行
豊中・サンマテオ
姉妹都市協会
事務局 豊中市市長公室
秘書課848-1121



オオイワ・ケンジさん
ハル夫人来たる。

新 会 長 あ い さ つ



豊中商工会議所会頭
福 盛 佐一郎

広石会長の後任として、昭和55年10月31日の役員会におきまして選ばれましたが、識見才幹の歴代会長の跡を継ぐこととなり、責務の重大さを痛感いたしております。

ご承知のとおり、当協会は昭和38年10月に発足しまして以来、今日まで、学生、市民の相互交流をはじめ、文化、スポーツ等多方面にわたり、その友好と親善の輪を深めてまいりました。

私は、これ等の諸事業が、国際親善はもとより世界平和の礎となることを確信し、一層の充実を目指し努力を傾注してまいりたいと考えております。

私的なことでありますが、アメリカ合衆国とは縁があり、娘家族がイリノイ州に永年滞在しており、何かにつけて国際的な関心で物ごとを見聞きしております。

会員各位の中にも私同様、諸外国と関わりをお持ちの方も多々おられることと思います。

このように、もはや世界の国々の人々も相互に関係を持ち、共に生活をするという環境が生れつつあり、ますます関係は深まるものと思えます。

こうした事情を反映し、国内における国際親善都市提携数も昭和38年当時、約50都市であったものが、現在では、320余都市に及び、アメリカ合衆国の130余都市をはじめ36か国と提携を結ぶといった著しい発展ぶりであります。

当協会といたしましても、このような状況を

踏え、今後より一層国際感覚を養い、サンマテオ市との友好親善交流の増進はもとより、姉妹都市提携宣言に謳われている「世界の平和と繁栄」のため微力ではありますが、努力してまいる所存であります。

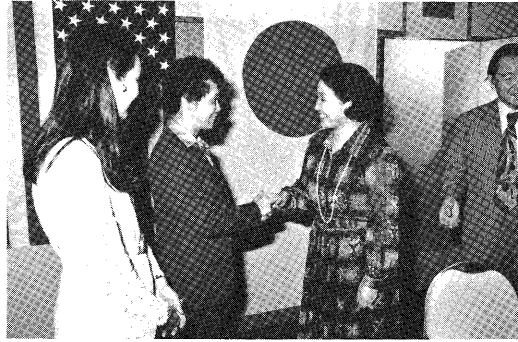
どうか、今後とも会員各位におかれましては、従来にもまして、一層のご支援とご協力を賜わりますよう切にお願い申しあげまして就任のご挨拶といたします。

サンマテオ市姉妹都市協会 日本委員会々長夫妻来る！

5月14日午後、ケンジ・オオイワさん（53才）が、ハル夫人（50才）とともに豊中に、来られました。

オオイワさんは、当市がサンマテオ市と姉妹都市提携をした昭和38年から協会の役員として、お父さんである今は亡き末吉さん、お母さんのハマエさんともども姉妹都市のプログラムに賛画し、特に日本からの訪問者には、何かとお世話を願っています。

ご夫妻の今回の訪問は初めてのことであり、なつかしい豊中のメンバーとの再会にとっても感激されていました。



【主な日程】

5月14日	15時30分 16時00分	新大阪駅 姉妹都市協会主催による 歓迎パーティ (ホテルアイボリー)
15日	終 日	京都
16日	終 日	豊中～大阪 夕方、市長招宴による 夕食会
17日	終 日	奈良
18日	11時00分	新幹線にて広島へ出 発

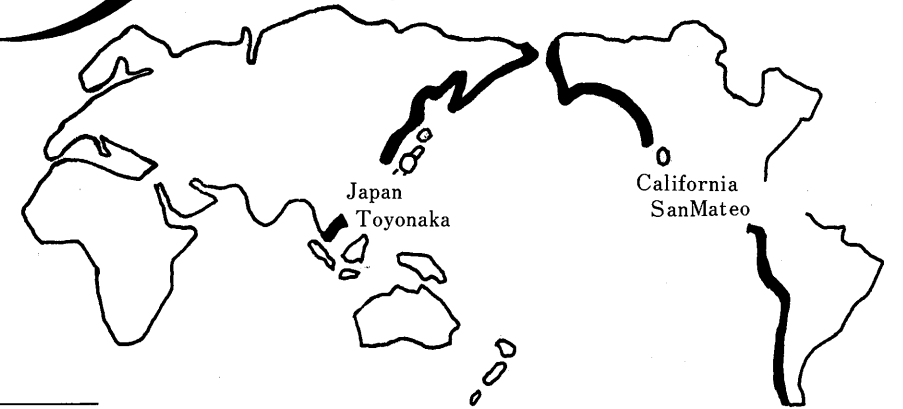
滞在中は豊中市、姉妹都市協会、少年野球連盟の関係者により、豊中、大阪をはじめ、新緑の古都、京都、奈良などを観光され、日本の風情を満喫されました。

特に歓迎パーティー、市長招宴の夕食会は、大へん盛大で、時間を忘れて楽しんでいただきました。

そして、5月29日、無事サンマテオ市に帰りましたが、「豊中の関係者によって受けたご厚意は、私たちにとって一生の良き思い出となります。そして、すばらしい豊中と姉妹都市ができてとてもうれしいです。これからも姉妹都市活動に一生懸命がんばります。お世話になった皆さんに心から感謝を申し上げます」と便りがありました。

広がる 市民交流

ことばや国境の垣根をこえて
の相互訪問は、ますます親
善の輪を深めています



豊中→サンマテオ

◎7月25日～8月25日

豊中市の各ロータリークラブの合同事業として
浅井直美さん（20才）が下村市長のメッセージ
を持ってサ・市訪問

その他の都市→豊中



◎10月7日～9日 サツキ・トミネ、シズコ・イナさん来豊

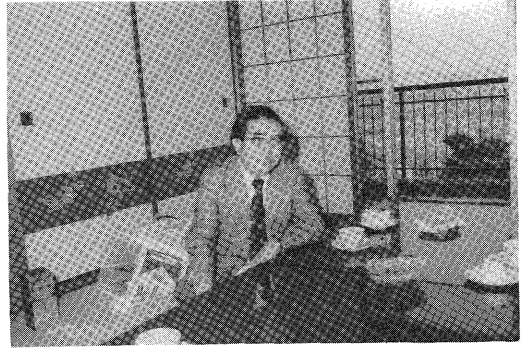
J・湯本氏のご親戚であるトミネさんとイナさんは親子で今回の訪問はトミネさんがオレゴン州立大学の老化現象研究の助教授をしていることから「日本の高令者問題について」勉強するために来豊した。

写真は豊中市の老人クラブのメンバーと懇談をしているところ

サンマテオ→豊中

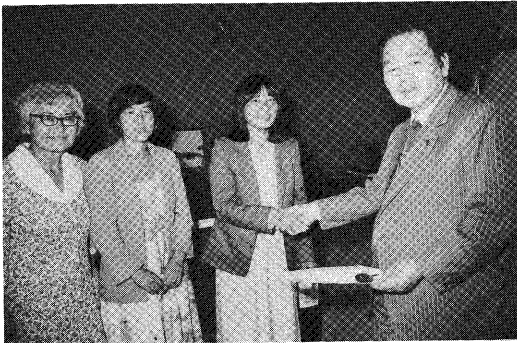
◎ 4月25日・10月13日 J・中田氏来豊

姉妹都市からの定期便として、毎年春・秋の2回来豊。サ・市の近況や今年来豊予定の少年野球チームのことについて懇談をした。



◎ 5月14日～18日 J・大岩夫妻来豊

サ・市の姉妹都市協会日本委員会々長をつとめる日系2世ご夫妻で来豊。なつかしい下村市長らとの再会を楽しんだ。



◎ 5月19日 アン・清村さん来豊

清村さんは、日系3世の世界的女子プロテニスプレーヤーで、沢松和子さんとペアを組みウィンブルドン大会で優勝したのをはじめ、世界各地で活躍。現在は全米6位にランクされている。今回の訪問は、日本のスポーツ用品メーカーが主催する「アン・清村テニスツアー」の団長として母のヒサヨさん、姉のビッキーさんらとともに来豊した。

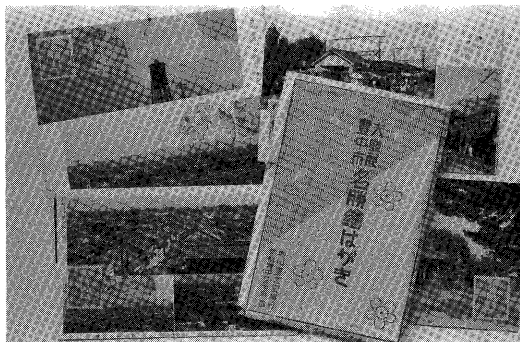


◎ アン・ケニさん(16才高校生)来豊

豊中市の各ロータリークラブとサ・市のロータリークラブとの交換学生として6月22日から7月20日まで豊中に滞在、会員宅での交流や市内見学などを楽しんだ。

44年前の豊中市の絵はがき里帰り

— J・湯本氏から贈られる —



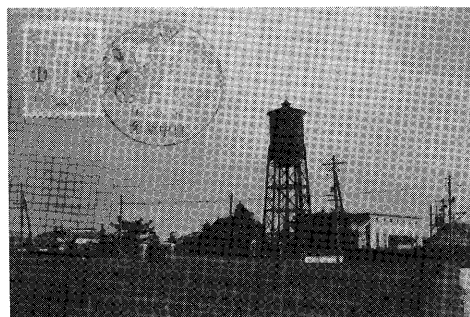
今年、豊中市は市制施行44年目を迎えました
が、9月20日、サンマテオ市のジョン湯本氏から、昭和11年の市制施行時に豊中市内の本屋さんが売り出した「豊中市内名勝絵はがき」のセットが送られて来ました。この絵はがきがどこをどうして、はるばるアメリカに渡ったか一切ナゾですが、豊中市内でもほとんど残っていない貴重なものだけに寄贈された豊中市は、44年ぶりに里帰した絵はがきを前に、たいへん喜んでます。この絵はがきはジョン湯本氏が、切手集めが趣味で、サンマテオ市内の古切手商の店先で掘り出し物を深しているうちに見つけ出したもので『大発展豊中市名勝絵はがき』と印刷された袋に11枚の白黒写真のはがきが入っており、「稲荷神社」（本町7丁目）「原田神社」（中桜塚1丁目）「円満寺」（蛍池東町1丁目）などの神社仏閣に加え、阪急豊中停留所（現豊中駅）付近の風景や北大門池（現大門公園）などが写っています。

どれも、いまの姿からは想像もつかないの
かな光景。はがきには1銭5厘の切手が貼ってあり、現在の豊中本町郵便局の前身である新免局の11年10月16日の日付が入った市制施行記念スタンプが押されています。発行元の吹田豊文堂は大正13年の創業で、現在も豊中市の阪急岡町駅前書店「豊文堂」を営まれています。

当主の吹田百合さんの話しではこの絵はがきは百合さんの父、弥三郎さんが知人の勧めで発行されたもので、撮影は豊文堂近くの「ライオン写真館」の先代が担当したそうです。弥三郎さんは、売れるかどうか不安でしたが、飛ぶように売れたと言うことです。

切手やスタンプがあることから郵便マニアの市民が買い取って一度は保存したものと見られます。

それがどうしてアメリカのしかも姉妹都市サンマテオ市にまで渡ったのかまったく不明ですが、いづれにしても、こんな貴重なものが里帰りしたことは、嬉しい限りです。



豊中水道ノ水源地ノタンク

(豊中市名勝)



豊中停留所附近

(勝名市中豊)

成功裡に第9回高校英語弁論大会終わる

栄えある優勝

渡瀬さん（梅花）が

恒例の高校英語弁論大会は、今年で9回目を数え、去る1月31日(土)午後2時から、豊中市民会館で開催されました。

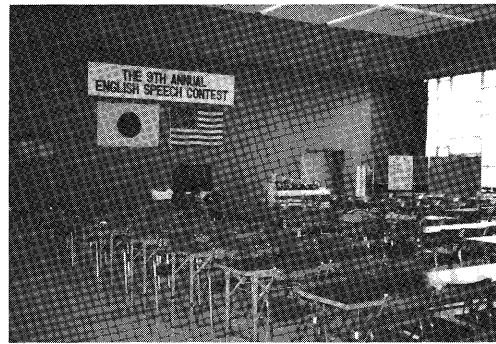
北摂唯一の公的英語弁論大会ということで、今年は13校から29名の出場者があり過去最大の大会となり、各学校の本大会によせる期待の大きさがうかがわれました。

また、8回大会まで出場者はほとんど女性で、男性の頑張りを望んでおりましたところ、今回9名の出場があり、熱気あふれる大会となりました。



(出場者は次のとおりです。)

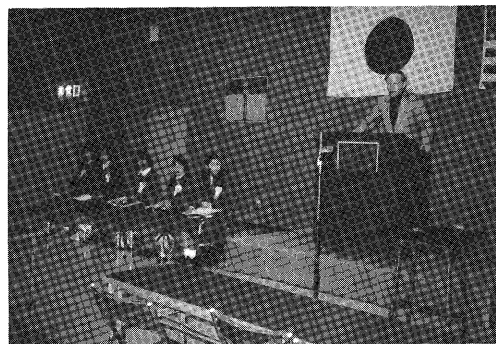
出場校	人数
豊中高校	1名
東豊中高校	2
梅花高校	3
池田高校	2
宣真高校	1
箕面高校	3
渋谷高校	1
被昇天高校	1
能勢高校	3
北野高校	1
追手門学院高校	5
宝塚高校	3
小林聖心女子学院高校	3
合計	29



採点は、イントネーション・プロナウンシェーション50点、コンポジション30点、ペアリング・デリバリー20点の配点で行ない、審査員にデービット・ボールドウィン先生（大阪北Y.M.C.A）オードリ・ギルグ先生（梅花大学教授）川合隆子先生（大阪北Y.M.C.A）宮城弘善先生（豊中教育研究所）久志助良先生（豊中高校教諭）が当りました。

(入賞者は次のとおりです。)

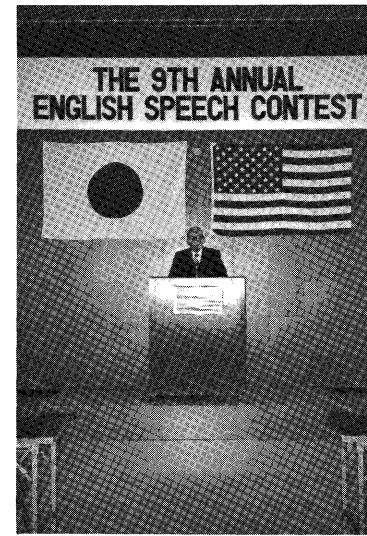
順位	氏名	学校名
優勝	渡瀬久美	梅花高校
2位	高畑美奈子	小林聖心女子学院高校
3位	水野直美	〃
4位	姜春好	北野高校
5位	下村義康	東豊中高校



入賞者には、協会会長賞と豊中市長賞が贈られ、参加者全員に、参加賞として図書券と弁論の際の写真及び録音テープを贈りました。

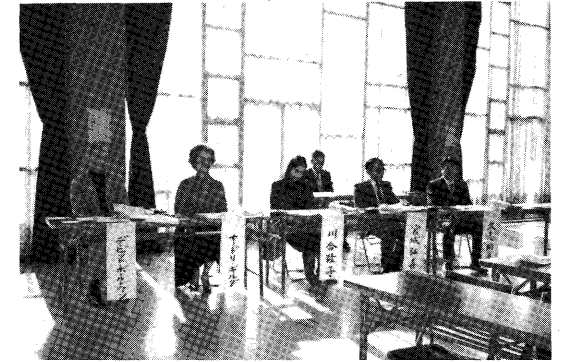
大会に際し、何かと御支援、御協力を賜りました関係各位に心から感謝申し上げます。

(協会事務局)

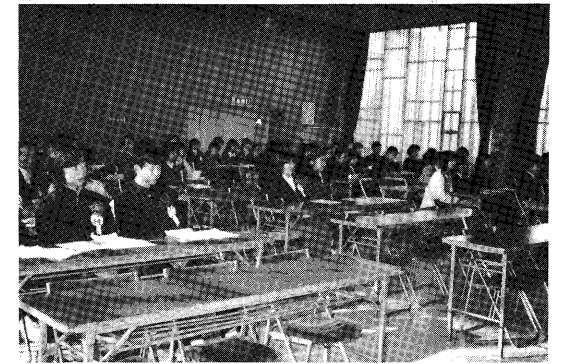


(A)

- (A) 会長あいさつをする福盛佐一郎氏
- (B) 審査をする各審査員
- (C) 熱心に聞きいる各学校の生徒
- (D) 入賞者を囲んでの記念撮影
- (E) 熱弁を奮う出場者



(B)



(C)



(E)



(D)

英語弁論大会に出場して



英語と私

優勝者

梅花高校1年

渡瀬久美

私が英語を習い始めたのは、幼稚園の年長の時でした。友達のお母さんが英語を教えておられたので、いっしょに習い始めたのでした。とても厳しい先生でした。しかし、日本語さえまだ不十分な六才の私には、英語はあまりに難しく、ずっとやめたいやめたいと思っていました。しかし、“What is your name?”というセンテンスを覚えた時、外人を見る度に話しかけていきました。外人の言っている事が全然わからない私はただ適当に、“Yes”や“No”を繰り返すだけでした。ただ、“What is your name?”を知っているというだけで、いろんな友達は英語なんか全然知らないんだという満足感がありました。しかし先生のご都合により途中でやめてしまいました。

そして、中学へ入学して、やはり効果があったらしく、小さい時はあんなにもわかりにくかった英語が、学校では先生のおっしゃる事が手に取るようにわかるのでした。そして、中三の九月、私の学校の恒例行事の一つである英語暗誦大会に出場してみようと、決心しました。この事が私を色々なコンテストに出場してみようという気を起こす、きっかけとなりました。大会では二位を取り、その日の喜びは大変なものでした。少し、自信がついたので、某暗誦大会にも出場しました。私の持っていたエネルギーの全てをその暗誦大会の為に注いだと言っても、過言ではないでしょう。その大会では、三位を取り、また一層、自分に自信がつかしました。

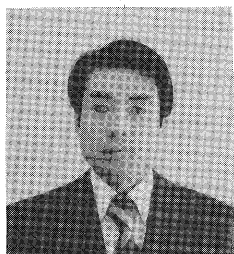
そして、高校へ入学して、某英会話学校へ通い始めました。その学校で七月にスピーチコンテストが行われました。自分に少しでも自信がついた私は、また自分を試したくなりました。しかし、今までは暗誦大会ですから、覚えるだ

けでよかったのですが、スピーチコンテストとなると、本当に自分への挑戦でした。そして二位に入賞したので、本当に良い記念になりました。しかも、英会話学校は年齢制限がなく、ほとんどが大学生、または社会人でした。高校生は数える程で、しかもスピーチに出場したのは、私一人でした。英会話の先生に「高校生で入賞したのはあなたが始めてよ」と、言われた時は、夢でも見ているようでした。

そして、この大会に至ったのです。始めはタイトルを何にしようかと、とても迷いました。しかし、ふっと頭に浮かんできたのが、小学校の時から道徳の時間などに勉強した「差別」という言葉でした。私は差別に対して小学校の時から、何か心にひっかかるものがありました。“差別なんてあるべきではないんだ。そう思うと、もうペンはその事だけに走っていました。でも本当は、この大会で優勝はおろか、入賞するとさえ思っていないででした。大会の前夜まで、“文章の構成が悪かったかもしれない。”うまく言えるか、などと、不安が重なっていました。ですから優勝者の名前を呼ばれた時は、一瞬信じられませんでした。

英語って一体何ですか？私は今の日本人にとって、とても大切な言葉だと思います。日本の第二の母国語だと言っても、オーバーではないと思います。英語を話している国でもイギリスとアメリカでは、随分、文化や考え方が違うと思います。私は英語を学ぶ事によって、そんなたくさんの人達との、交流を深めたいと思うのです。色々な人の中で、自分を試したり、自分の存在を知る事って、とても素敵な事だとは思いませんか？

審査員の立場から



豊中市立教育研究所
久志助良

「青年の主張」の英語版ともいうべき高校英語弁論大会も、はや第9回目を迎え、参加者29名を数える文字通りの大会になりました。昨 years が21名、一昨年が18名であったことを思いあわせると、目をみはる思いがいたします。誠に喜ばしいことで、心からお喜びを申し上げます。

当日は、例年同様に白熱の弁論が展開され、審査員一同、審査に頭を痛めました。以下、若い方々の今後の飛躍を期待して、審査を担当させていただいた私たちの感想の一部を書かせていただくことにいたします。

まず、審査員を代表して、デービッド・ボールドウィン先生は、当日の講評で大要次のように話されました。

- スピーチをする場合、聴き手に、こちらが話すことに興味を持ってもらうことが必要です。したがって内容が大切ですが、この点では皆さん成功しておられ、それぞれ大変おもしろいスピーチでした。
- コンテストでは、残念ながら全員に賞をお渡しすることができません。しかし、きょう入賞されなかった24人の方々には、賞こそ手にされませんでした。それなりの成果を得られたことと思います。例えば、ひとつのスピーチをマスターして話すこと（主張）を持っておられますから、会話をすることができます。これは、大変重要なことです。
- 何といっても練習が大切です。この意味でも、スピーチ・コンテストには今後もしどし出場してください。

ボールドウィン先生の講評にもありましたように、スピーチは内容が大切です。強く主張したいことがあってはじめてスピーチに熱がこもり、それが聴き手をうつこととなります。良い英語のスピーチをするには英語の力もさることながら、その前に聴き手に伝えたい主張がなけ

ればなりません。いかに英語がじょうずでも、いいことがなければ何も話せませんし、無理に話してみても、それは内容のない空虚なむだ話にすぎません。極論のように聞こえるかもしれませんが、いろいろな体験をして人間としての幅を広げることが魅力あるスピーチを可能にし、ひいては英語の上達につながるといえます。いいことを持たない人には、表現の手段は不必要なのですから。

話し方で気をつけてほしいのは、ペラペラと早口でまくしたてないということです。聴き手に自分の主張を理解してもらうためには、語りかける気持ちで、むしろゆっくり話すべきでしょう。このことは、普通の会話にもいえることです。その為には、間（ま）を十分とりましょう。そして、ひとつひとつの音を正確に発音しましょう。例えば、〔r〕は舌先を上歯の裏につける、〔θ、ð〕は舌先を上歯の前歯の下にあてるなど、中学校で教わった子音の発音法を忠実に実行するだけで発音が驚くほど明瞭になり、聴き手が原稿を見なければ理解できないようなスピーチになる気づかいは、まったくなくなってよいほどなくなります。

大会に出場されるにあたり、出場者の皆さんは大変な努力をされたことと思います。大会直前の努力も大切ですが、日々の小さな積み重ねもそれに劣らず重要です。良い英語をたくさん読んだり聞いたりするとともに、正しく発音し、話す習慣をつけるよう日頃から努力してください。

しり込みしがちな英語弁論大会に進んで参加された勇氣に、心から敬意を表します。これを機に、新しい気持ちで英語の学習に一層精を出されるよう期待しております。

次回も大勢の参加者を得て、大会がますます発展いたしますよう、心からお祈りいたします。

基金の積立てについてお知らせ

昭和54年1月25日、前会長広石氏のご熱意によりまして、基金積立制度が発足いたしました。

この制度は、協会事業の円滑な運営を図るために設置されたものでありますが、その後4団体から寄附をいただき利息についても、次のようになっていますので、お知らせいたします。

(55.3.31 現在)

項 目 (寄附金)	利 息		元利合計額
	54年度	55年度	
54.6.20 1 豊中ロータリークラブ 100万円	34,747	85,866	1,120,613
55.1.23 2 豊中商工会議所 100万円	5,526	82,343	1,087,869
55.7.28 3 豊中交通安全自動車協会 100万円	—	49,050	1,049,050
56.3.31 4 豊中ライオンズクラブ 100万円	—	848	1,000,848
合 計	40,273	218,107	4,258,380

(注) 寄附金は、5年ものの信託預金にしています。



その他行事

- ◎ 6月9日
昭和54年度の会計監査を行う
- ◎ 7月2日
昭和55年度総会並びに役員会を開催し、下記案件について審議した。
 - ①昭和54年度の会務報告、歳入歳出決算認定ならびに監査報告について
 - ②昭和55年度予算について
 - ③役員改選について
- ◎ 10月31日
役員会の開催
新・会長として福盛佐一郎氏を選出

編集後記

最近の日本人の海外進出は、商用・旅行に限らず、めざましいものがあります。

アメリカ・ヨーロッパ等どこに行っても日本人を見かけるといったことで、それだけに多くの日本人が外国に出かけているということであり、一昔前と比べるとずい分変わってきたものだと思います。

自給自足のできない、資源の乏しい我が国が、今日では経済大国日本といわれるまでになりました。このことは、日本人の持って生れた勤勉さと行動力がそうさせたのだと思います。こんな中で、当協会が毎年行なっている高校英語弁論大会を、次代を担う青少年の皆さんが、英語を通じて世界に飛躍するための一助にしていただければ、主催者として誠に幸いです。

又、今年はサンマテオ市から少年野球チームが来豊する予定ですが、今後ともよろしくご支援、ご協力をお願い申し上げます。